

めざす子ども像

**心身ともにたくましく、自他を大切にし、****自ら学び、主体的に行動する子ども**

取組目標

- ・安全な方法を提案しながら、地域のあらゆるところからの日頃の支援や行事を通して様々な人と関わり繋がることで絆を深める。
- ・自ら発言し行動できる練習体験を繰り返すことで、自信を高め自他を認めて大切に思う心を養う。

## 【今年度の取組紹介】

新型コロナウイルス拡大予防のためビデオ配信となっていました絵本の読み聞かせが今年度は対面での実施ができるようになりました。子ども達の反応が直接伝わるため地域ボランティアの方々と子ども達の距離が近くなり、ボランティアの方々の熱意と参加人数の増加に繋がりました。また、ボランティアの人数が増えたため、読み聞かせの対象学年が1～3年生から1～4年生へと拡大したり、図書室の環境整備が進んだり、良い循環となりました。



図書整備

子どもプロジェクト事業の新たな試みとして行いました「霊山寺ウォーキングツアー」にはあいにくの小雨の中多数の親子連れが参加し、霊山寺の住職より講話をいただき、お寺の成り立ちや地元の歴史を学び、この地の魅力を再発見しました。



絵本の読み聞かせ

## 【今年度のまとめ】

まだまだ制限はありますが、直接子ども達と触れ合い関わる場面が増え、子どもと地域の方々の距離が少し近づいたのではないかと思います。特に図書ボランティアの方々は毎週活動されていることもあり、お互い顔見知りとなり道ですれ違った時にも言葉を交わすことが増えたと伺っています。

コロナ禍で活動が制限される中、子どもの体験活動を増やすことを中心の課題とし、「フェルトソープの作成」体験や「霊山寺ウォーキングツアー」を実施することができました。

## 【来年度に向けて】

活動制限が緩和されることを期待し、学校園での活動を支援する中で子どもの体験値を増やし、地域の方との関係を高めていきたいと思っております。協働活動を通して幅広い年齢層の顔見知りを増やし、多様な価値観を知る一助としたいと考えます。

めざす子ども像

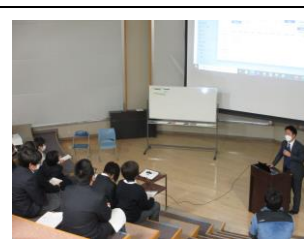
**心身ともにたくましく、自他を大切にし、  
自ら学び、主体的に行動する子ども**

取組目標

子どもたちと地域の方々とのかかわりの中で、子どもたちは人間関係の多様性を学び、地域の方々には学校や児童生徒に対する理解を深めていただく、相互に有益な関係を築くことができる取組を充実させる。

## 【今年度の取組紹介】

昨年に続く新型コロナウイルス感染防止対策の中、計画していた事業を工夫しながら進めてきました。特に、中学部においては、生徒の学習環境として本校図書情報室の環境整備に力を入れ、図書ボランティアの方をはじめとして教職員、学校図書館司書の方の連携を密にしながら実施をしました。新しい本が納本される度にブッカー装備をしていただき、本の修理、ブックエンドを利用した書架の表示など、生徒が図書情報室を利用する上で便利のように工夫をこらした作業を進めてくださいました。こうした図書活動推進事業の他、キャリア教育支援事業としては数年お世話になっている先生を講師にお招きし、8年生は職場訪問学習の事前学習として、9年生は進路実現の受験等の対策として、マナー講習会を実施しました。ボランティアで来てくださる方のご都合や学校での生徒の教育課程とうまく時間が合わせられず、今年度は協働での活動が実施できませんでしたが、校内でのボランティアの方の目印であるオレンジ色のエプロンに地域の方を身近に感じたり、地域の方が作成された成果物を目にすることで感謝の気持ちを表す言葉が出たり、微笑ましい場面もありました。



7年生職業人に学ぶ



マナー講習会

## 【今年度のまとめ】

コロナ禍での事業実施について、どのようにすればできるのかという視点を常に意識しながら計画を進め、地域の方と協力しながら運営できたと思います。コーディネーター会議など、地域の方と打合せを重ねる中で、地域としてめざす子ども像に、コロナ禍においていかに迫れるかを共に考えてきました。毎日の登下校の見守りをはじめ児童生徒の姿を日常的に地域の方が見てくださったり、児童生徒の学習環境についても図書館司書の方とタイアップして読書環境の整備にご尽力くださったりしました。地域の方の熱い思いと子どもに対する大きな期待を今年も改めて感じました。

## 【来年度に向けて】

コロナ対策の緩和も鑑みながら感染対策を徹底しながら、できることを、方法を吟味しながら実施していく方向で取り組んでいきたいと考えています。子どもの実態をみつめ、地域としてめざす子ども像を共有し、具体的にどのような手立てで事業を実施していくのかを明確に共有しながら進めたいと思います。地域の方からはボランティアを新たに申し出てくださる方もあり、とてもありがたいと感じております。大人の姿を見て子どもが育つような素晴らしい関係を地域の方と教職員とで築いていきたいと考えます。

めざす子ども像

## 心身ともにたくましく、自分を大切にし、 他者を思いやる子ども

取組目標

地域の方々とのかかわりの中で、子どもたちは人間関係の多様性を学び、地域の方々には学校や児童生徒に対する理解を深めていただき、相互に有益な関係を築くことができる取組を充実させる。

### 【今年度の取組紹介】

新型コロナウイルスの影響により、子どもたちや、地域の皆さんの安全を第一に可能な限り実施できる活動を模索し実践しました。

図書の読み聞かせの活動では、昨年度は実施できなかった対面での読み聞かせを実施することにしました。子どもたちは絵本の周りに集まらず、自席で聞くという形ではありましたが、年間通して実施できましたし、動画で撮るよりも、子どもたちの表情や反応を見ながら読めることがとても嬉しいと喜んでおられました。

また、環境整備活動では、校舎沿いの学級園の整備を昨年度終えたため、サツマイモの苗植えから収穫までを計画できました。2年生の子どもたちが地域の方と一緒に取り組み、ちょうど教室から畑の様子が見える場所なので、大きくなっていく様子も良く分かり、実際にとても豊作で子どもたちの喜ぶ姿が微笑ましく思えました。

今年度は、3月に隣の畝にジャガイモの種芋をひまわり学級の児童が植えます。毎年、地域の畑で収穫させていただいたジャガイモの販売をする学習をしていますので、来年度は多くのジャガイモ販売できることを期待しています。



サツマイモ収穫の様子

### 【今年度のまとめ】

環境整備支援、読書活動推進、学習補助等に、多くのボランティアの方が登録してくださっています。コロナ禍のため制約があるなか、工夫をしながら子どもたちと地域の方が出会い、ふれあい、ともに活動することで、大人も子どももこの地域のなかで暮らしていることを意識することができました。実施できない事業もありましたが、昨年度よりは多くの活動ができたため、「めざす子ども像」を共有し、よりよい学びの構築のため時間や思いを共有できました。

### 【来年度に向けて】

今年度も制限される事業もありましたが、地域の方より「来年こそはもっと役に立ちたい」という温かいご意見を複数いただきました。様々な活動を効果的に実施するため、新しい生活様式に対応する事業の視点を持ち、めざす子ども像を「心身ともにたくましく、自他を大切にし、自ら学び、主体的に行動する子ども」としました。今後も、地域とともに実現できるよう連携をより密にして取り組んでいくことに力を注ぎます。そうすることで、大人も子どもも地域のなかでの有用感を感じられる取組が運営委員会の事業として展開できるように努めます。

めざす子ども像

**心身ともにたくましく、自他を大切にし、****自ら学び、主体的に行動する子ども**

取組目標

**地域の教育力を活かした、こ小中連携教育  
「やってみたいな」から始まる遊びを探る  
～環境構成の在り方について考える～**

## 【今年度の取組紹介】

◆地域の教育力が現場で活かされている場面としては、茶道教室で講師の先生より、日本の伝統文化を知ることができました。お茶のお点前だけではなく、その季節に合わせた掛け軸、生け花など、本物に触れ、それらの意味や由来などを教えていただきました。経験を通して豊かな心を育み、子どもたちの生きる力にもつながり地域力が大いに活かされた取組となりました。

また、ダンス教室では、子どもの体力作りに着目して、楽しい曲に合わせてダンスを踊りました。この経験からダンスに興味をもつ子ども多くなりました。地域の方と共に体力作りに楽しく参加する貴重な経験となりました。



茶道教室の様子



ダンス教室の様子

## 【今年度のまとめ】

第三幼稚園から引き継ぎを行い、富雄藍咲学園として今年度初めての事業に取り組んだ結果、一年を通して園児は、様々な経験を重ねることができました。また、携わってくださった講師の方、ボランティアの方、CNの方々からも、第三幼稚園の時に比べ、園児数も多く規模も大きいので、やりがいも大きいという声も聞かせていただきました。地域の教育力を活かして、“心身共にたくましく”という地域の目指す子ども像にもつながる姿が見られたことは、成果として捉えております。

## 【来年度に向けて】

園と地域とがつながることで、保育教育の質の向上を目指すことができます。今年度、成果として挙げられた事業はもとより、さらなる内容の充実を目標としたいと考えています。中でも、小学校との連携では、この数年コロナ禍の影響により、今年度もまだ思うように進められていなかったこともあり、来年度の課題とします。来年度以降は、地域力を活かした取組の中で小学校との連携が図れるように、今後もCNの方々の力を借りて積極的に課題に取り組んでいきたいです。